

授業科目の概要

科目区分	授業科目	概要
共通科目	看護理論	実践科学である看護学・看護科学の変遷を概観し、看護理論の役割・意義、および今後の課題を探究する。また、世界の動きに注目し、西洋と東洋を越えて統合された看護理論と実践に適用可能な中範囲理論を追究する。
	赤十字人道援助論	授業の目的に沿って、主要国際機関の動向や赤十字機関が国内外で実施する人道援助の現状を歴史的な視点と具体的な活動事例も交えながら学ぶ。主な項目は以下のとおりである。①国際人道支援の原則のなりたちと赤十字の基本原則の果たした役割、②人間の安全保障とMDGsからSDGsの取り組み③武力紛争時に適用されるジュネーブ条約を中心とした国際人道法の体系④国際的人道援助の標準化と最低基準（スフィア・プロジェクト）、その他行動規範⑤緊急救援と開発協力の実際
	科学的研究方法論Ⅰ (実験研究)	実験研究に不可欠となる動物およびヒトの生体で起こる現象を科学的に立証するための研究方法、生体反応など様々なバイオマーカーを利用した実験研究及び準実験研究の方法について教授する。
	科学的研究方法論Ⅱ (臨床介入研究)	臨床現場で介入による治療・ケアの効果をj得るために臨床介入研究を計画し、遂行するプロセスについて教授する。介入のための方法論や結果分析法などについて実践的に教授する。
	科学的研究方法論Ⅲ (尺度開発)	講義内容をもとに尺度開発に関する文献検討により深めた内容のプレゼンテーションとディスカッションを中心に行う。
	科学的研究方法論Ⅳ (質的研究)	看護学における事象を帰納的な観点から探究するために必要な統合力を培い、学際的な研究手法を活用することの意味を理解し、KJ法および現象学的研究プロセスを展開できるように教授する。
	科学的研究方法論Ⅴ (文化人類学的研究)	看護学における事象を帰納的な観点から探究するために必要な統合力を培い、学際的な研究手法を活用することの意味を理解し、文化人類学的研究プロセスを展開できるように文化人類学領域におけるデータ収集、分析の方法論を教授する。
	科学的研究方法論Ⅵ (理論構築)	看護実践モデルを構築するまでのプロセスと慢性疾患看護の実践場面における活用方法について、具体例を用いながら教授する。
	臨床倫理論	臨床現場で遭遇する倫理的諸課題に対して、社会的ニーズの多様化に即した適切な対処ができるよう、臨床倫理および医療マネジメントの基本原則と重要概念を教授する。看護学の領域において、今後の医療における倫理的役割の重要性と必要性を理解し、医療倫理と医療マネジメントを応用実践できるように教授する。